

千葉県松戸市の小学校で環境授業を実施

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、松戸市立牧野原小学校、松戸市立松飛台小学校において環境授業を実施しました。9月24日(水)は牧野原小学校で5年生113名に、10月17日(金)・20日(月)は松飛台小学校にて5・6年生233名を対象に、バイオディーゼル燃料(以下、BDF)をテーマにした環境授業を実施しました。

当社では松戸工作所(千葉県松戸市)で2010年2月から廃食用油を原料としてBDFを生産し、自社内で活用するほか、松戸市のごみ収集車へも提供しています。廃食用油は松戸市内の事業所や各家庭、松戸市、松戸テクノプラザ(松戸商工会議所関連団体)、NPO法人(アウルの会)と連携して回収しています。今回の環境授業は、このような縁もあり、両小学校から民間企業の環境への取り組みを紹介したいとの意向を受け実現したものです。

環境授業はBDFの精製実験と、そのBDFを使った模型エンジンの作動実験を行いました。生成過程の液体の変化を観察できるようにしてBDFについて詳しく知ってもらうとともに、リサイクルの大切さを学んでももらいました。また、放課後には校庭にBDFで稼働する松戸市のごみ収集車、当社工作所のフォークリフトを展示し実際に動かすなど、児童に興味をもってもらえる工夫も行いました。

当社ではこれからも、CSRの観点から小中高校への環境授業を積極的に実施し、若い世代への環境意識の高揚を図り社会貢献に繋げていく予定です。



写真1 授業の様子



写真2 BDFで稼働するフォークリフト